



愛称「マナボー」

college news

カレッジだより

2009 Mar.

vol. 15

～学びから 夢が生まれる道民カレッジ～

北海道発展論

～ITがもたらす農業・漁業のハイテク化～

村上 秀雄 (標茶町)



現在の北海道は、大都市に人口が増加しており、その他の地域では過疎化、空洞化が進行しています。それは教育や文化の充実、公共施設の完備や、雇用、生活の利便性に加えて個人の経費負担も軽いことがあります。しかし広大な自然や資源に恵まれた北海道に活力を取り戻させるためには、もっと地方を重視し、従来型の開発や経営を見直し、時代に即応した革新的な方法が求められています。ここで提示されているようなITを活用したハイテク化があらゆる産業に求められています。

今日、国際化、情報化、技術革新は急速に進み、国際情勢も変化しており、中国など途上国の安い品物が沢山入ってきており、これに対応するためには、自給率を高め、大学で高度な技術開発の研究を産業に取り入れるための産学協同が必要です。既に学内では遠隔教育や他大学との学部の提携や、海外までコンピュータやインターネットでの交流が始まっています。産学協同で研究者が企業現場で指導することができ、最先端で働く技術者も大学で教えることができ、学生も企業で実習し遠隔で授業を受けることができます。更に企業同士の協同システムで効率的に製品を作り出すことができ、投資も軽くなるので、このような環境づくりを積極的に進めるべきです。

更に遠大な構想として「自由貿易地区」を設けることを提唱しております。コンピュータやインターネットを利用したシステムを世界規模で作成し、多くの大学・企業が共用して運用できる環境を具現することで、海外の研究者や企業が入ってくるし日本の企業も海外に進出でき、雇用の促進にもつながる。更に国際協調になり、研究成果は、農業・漁業にも及ぶ。

農業の面では広大な北海道の耕地を100の農業地区にし、複合経営することを提示している。栽培、転作、田畑転換、飼料自給、野菜などの工場生産を各農場が協同で実現する。既に浦臼町では太陽光利用の野菜工場が始まっており、温度はコンピュータで制御され、温度が上昇すると遮光カーテンがおろされ、出来た野菜は水洗いされベルトで送られ新鮮で品質に問題はない。

漁業でも、室蘭市で栽培漁業で高価なマツカワをコンピュータによる水温管理で育てている。これからの日本の漁業は「捕る漁業から育てる漁業」に重点がおかれることから、ITを活用した栽培漁業が必要になると思う。農業も漁業でも最先端の科学技術を取り入れた革新的な経営が必要と思う。(平成20年度 大学放送講座レポートより)

道民カレッジの現状

(平成21年3月11日現在)

道民が、いつでも、どこでも、学びたい時に学ぶことができる「道民カレッジ」は、今年で8年目を迎えました。ここで道民カレッジの現在の状況をお知らせします。

◎学 生 数 22,722人 (男性 9,906人 女性 12,816人)

◎管内別学生数

管 内	石 狩	渡 島	檜 山	後 志	空 知	上 川	留 萌
受 講 生	8,153人	1,046人	1,014人	1,297人	1,015人	2,924人	765人
管 内	宗 谷	網 走	胆 振	日 高	十 勝	釧 路	根 室
受 講 生	741人	1,448人	693人	1,110人	704人	1,041人	771人

◎称号取得者

学 士	修 士	博 士	学長奨励賞 (1,000単位)	学長奨励賞 (2,000単位)
310人	196人	144人	22人	2人

全道6圏域12会場で実施された

主催事業「ほっかいどう学」出前講座

10月18日の伊達市における開催を皮切りに全道12会場で実施された出前講座は、各地域の特色を活かし、地域づくり、人づくりをテーマに活発に展開されました。

以下は、各会場の実施状況です。

(敬称略)

市町村	テーマ(地域課題)	会場	実施日	派遣講師	参加者
伊達市	◇世界に誇る北海道・北東北の縄文遺跡郡を学ぶ	コミュニティーセンターハマナス館	10月18日	NHK解説委員 毛利 和雄	64名
厚岸町	◇厚岸の自然環境とまちづくり	本の森厚岸情報館	11月22日	北海道大学 教授 日浦 勉	39名
当別町	◇地域の子どもは地域で育てる	西当別コミュニティーセンター	12月14日	道子ども会育成連合会 事務局長 高崎 盛雄	28名
占冠村	◇地域医療・福祉とまちづくり	コミュニティープラザ	12月20日	夕張医療センター 医師 村上 智彦	79名
津別町	◇ボランティアによる人材育成	中央公民館	1月17日	北海道まちづくりボランティア会議 代表 藤井 英規	67名
帯広市	◇地域の価値、再発見 これからのまちづくり	とかちプラザ	1月24日	札幌国際大学 准教授 吉岡 宏高	34名
浦河町	◇魅力ある地域づくりのために人の輪を広げよう	浦河町総合文化会館	2月1日	(有)エアーダイブ 代表取締役 田中 宏明	50名
羽幌町	◇シニア世代の地域参加	羽幌町中央公民館	2月2日	(有)インタラクシオン研究所 代表 安田 睦子	38名
釧路町	◇自分の町知ってますか 町を知り、町とともに生きる	遠矢コミュニティーセンター	2月17日	ヌキタ・ロフィスト 代表 貫田 桂一	218名
鹿部町	◇海と温泉の町・鹿部温泉を活性化させる	吉の湯	2月19日	札幌国際大学 教授 松田 忠徳	39名
真狩村	◇食と農で元気なまちとひとづくり	真狩村公民館	2月25日	農村ライター 長尾 道子	70名
奈井江町	◇地域と大学との連携による健康のまちづくり	奈井江町公民館	3月29日	北海道医療大学	未定

学習単位の認定及び称号の取得について改正のお知らせ

次のことが改正されましたのでお知らせいたします。(平成21年度より実施)

1. 単位の認定について

〈改正前〉 連続講座においては、講座を主催する機関・団体の単位認定基準が優先されますが、それ以外は7割以上の出席が必要です。

〈改正後〉 連続講座においては、講座を主催する機関・団体の単位認定基準が優先されます。

2. 必修単位について

〈改正前〉 「指定講座」等では、必修単位と専門コースの単位を選択しますが、必修単位を取得後、専門コースの単位に互換できません。

〈改正後〉 称号取得にあたっては、必修単位を「ほっかいどう学」コースの単位に互換できます。ただし、必修単位のままとします。

3. 称号の取得について

〈改正前〉 「学長奨励賞」は、コースに限らず、総取得単位数が1000単位、2000単位、3000単位となった場合に、賞状を授与します。

〈改正後〉 「学長奨励賞」は、「博士」号を取得後、コースに限らず、総取得単位数が1000単位、2000単位、3000単位となった場合に、賞状を授与します。

称号取得者等「学習成果活用セミナーⅧ」を開催

「道民カレッジの称号取得者及びモニター等が集い、これまでの学習の成果を生かし取り組んできた活動について情報交換し合い、さらなる活動への広がりを探る」ことを目的に、3月2日（月）かでの2・7において第8回標記セミナー開催しました。63名の参加を得て盛会に終えることができました。

《講座内容》

1. 基調講演 「学習支援者としての資質を高めるために」
講師 北海道大学・高等教育機能開発総合センター
教授 木村 純 氏
2. 講 義 「生涯学習プログラムの開発
～自主企画講座を担当するリーダーのあり方～」
講師 北海道立生涯学習推進センター
学習情報課 課長 広 島 孝 氏



学習成果活用セミナーⅧ

セミナーでは、上記の講師により称号取得者が生涯学習社会において地域リーダーの果たす役割や期待についてわかりやすく講義していただきました。つづいて、モニター等へのアンケート結果を説明後、10名程度のグループに分かれてアンケートの結果や道民カレッジのあり方について問題点や課題について話していただきました。皆さんからいただいた意見については今後の事業に生かしていきたいと思えます。

「ほっかいどう学検定合格者の集い」を開催

「平成20年度ほっかいどう学検定」を受検し合格した人を対象に「ほっかいどう学」の継続的な学習を奨励するとともに、参加者相互のネットワーク化を図ることをねらいに実施しました。2月28日（土）かでの2・7の大ホールにて227名の参加者を得て盛会に終えることができました。

《講座内容》

1. 記念講演 「今、歴史が甦る」
講師 ノンフィクション作家 合 田 一 道 氏
2. フィルムフォーラム
「フィルムから見る昭和初期の北海道」
解説 北海道文書館 主 査 靄 原 美 恵 子 氏



ほっかいどう学検定合格者の集い

集い終了後、ほっかいどう学の学習を通して北海道をより理解し、会員相互の学習意欲を喚起することを目的として「ほっかいどう学を学ぶ会」の設立を提案されました。総会では、会則・事業内容・役員を選出などが協議されました。

《主な事業内容》

- (1) 研究会・研修会の開催
 - ① 道南歴史探訪バスツアー 平成21年10月17日（土）～18日（日）
 - ② 研究発表会の開催 平成12年11月・平成22年 5月
- (2) 機関紙の発行（年3回） 平成21年7月・11月・平成22年3月

なお、検定合格者で「ほっかいどう学を学ぶ会」に入会希望者は、入会金1,000円を添えて、事務局（北海道生涯学習協会生涯学習課・TEL 011-204-5780）あて申込みください。

称号を取得された方々

(平成20年12月26日～平成21年3月11日)

(敬称略)

● 学長奨励賞 (1000単位取得) ●

傳寶 博愛 (札幌市)

箕浦 義則 (帯広市)

● 博士 (300単位取得) ●

傳寶 博愛 (札幌市)
平石 修 (札幌市)
岩佐勢津子 (帯広市)
秋江 慶子 (帯広市)
紺野 秀子 (帯広市)

伊藤金五郎 (札幌市)
船田 公正 (札幌市)
三浦 保彦 (札幌市)
宮口 義雄 (鹿部町)
深畑千恵子 (札幌市)

高橋 公一 (札幌市)
石原富士雄 (函館市)
上田 純一 (美幌町)
田中 達 (由仁町)

● 修士 (200単位取得) ●

佐藤 寛 (恵庭市)
館田 幸子 (札幌市)
藪谷 義雄 (帯広市)
傳寶 博愛 (札幌市)
加藤 京子 (北見市)
田中 豊實 (音更町)

坂本 曠光 (北見市)
佐々尾雅志 (札幌市)
笹塚 篤 (札幌市)
渡辺 常雄 (江別市)
箕浦 義則 (帯広市)
宮本 高市 (帯広市)

松浦 数義 (札幌市)
田村 恒夫 (釧路町)
占部 一誠 (苫小牧市)
犬養 希佑 (札幌市)

● 学士 (100単位取得) ●

傳寶 博愛 (札幌市)
石岡 六美 (鹿部町)
奥野 功 (札幌市)
遠藤 秀雄 (雨竜町)
加藤 京子 (北見市)
田中 弘子 (由仁町)

三村 敏憲 (帯広市)
荻野 貞範 (千歳市)
宮本 高市 (帯広市)
吉田 貴子 (函館市)
石原 照子 (函館市)
小笠原道行 (滝川市)

小笠原康夫 (函館市)
田村 恒夫 (釧路町)
小笠原知子 (函館市)
甲谷 喜彦 (新ひだか町)
占部 一誠 (苫小牧市)

一年を振り返って



ほっかいどう学実践講座



ほっかいどう学検定事前講習会・旭川大学



北海道切り絵作品展



かでの講座



学習成果活用セミナーⅧ



ほっかいどう学出前講座 (真狩村)

カレッジだより Vol.15

平成21年3月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局
財団法人 北海道生涯学習協会
〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階
TEL (011) 204-5780 FAX (011) 281-6664
URL <http://www.hsgk.jp/college/> Eメール college@hsgk.jp

